

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月12日

上場会社名 ブックオフコーポレーション株式会社
 コード番号 3313 URL <http://www.bookoff.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 佐藤 弘志
 (氏名) 松下 展千

TEL 042-750-8588

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	26,515	—	398	—	493	—	△8	—
20年3月期第2四半期	24,502	9.5	1,192	△22.0	1,255	△21.4	420	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△0.48	—	—	—
20年3月期第2四半期	23.00	22.87	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	31,921	10,789	10,789	33.3	33.3	597.70	597.70	
20年3月期	28,824	11,098	11,098	38.0	38.0	615.48	615.48	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 10,641百万円 20年3月期 10,950百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	18.00	18.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	19.8	2,400	1.2	2,600	1.1	950	△9.1	53.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 株式会社ワイシー) 除外 —社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 19,349,200株 20年3月期 19,337,200株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,546,018株 20年3月期 1,546,000株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 17,798,565株 20年3月期第2四半期 18,284,151株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会社基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社は「捨てない人のブックオフ」をテーマに、リユース社会のインフラとしての役割を担うべく、本、DVD等のみならず、家庭で不要となった洋服、スポーツ用品、貴金属などを一箇所で扱う複合店「中古劇場」中心に業容を拡大していく考えであります。

総合リユース市場シェア拡大の戦略の要となる大型複合店舗「中古劇場」の出店は、当第2四半期連結会計期間2館出店したことで、当第2四半期連結累計期間の出店は4館となりました。

複合館内の出店に加え、中古劇場と並ぶ将来収益力の柱となる都市型大型店の出店等、当第2四半期連結会計期間におけるBOOKOFF及びその他リユース業のグループ直営店出店は5店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高26,515百万円（前年同期比8.2%増）営業利益398百万円（前年同期比66.6%減）、経常利益493百万円（前年同期比60.7%減）となりました。売上が伸びに反し、営業利益、経常利益が減少している要因は、当期に、秋葉原、渋谷などのメガターミナル駅の大型店を含めた22店舗（前年同期17店舗）出店したことによる初期費用等によるものです。

主力であるブックオフ事業は、新店が好調に推移したことにより単体は利益見通しを上回りました。

連結では、今通期へのマイナスインパクトを軽減するために、上期に出店を集中させましたが、リユース事業の各業態において、繁忙期前に続けて出店するために既存店の商品を充てたことで、既存店売上が計画を下回りました。

しかしながら、上期後半から、仕入・販売客数ともに好調に推移しており、通期の計画は据え置くこととしました。

（ブックオフ事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高21,555百万円（前期比6.8%増）となりました。

都市型大型店2店舗、中古劇場内3店舗を含め、当第2四半期連結累計期間のブックオフ事業の出店は、グループ直営店10店舗、FC加盟店15店舗でした（閉店はグループ直営店7店舗、FC加盟店12店舗）。

都市型大型店等の今期新店が好調に立ち上がったことに加え、昨年度より低下傾向が続いていた客数が前年同月比プラスになるなど、好調な結果となりました。

また、オンライン事業も計画どおり順調に売上を伸ばし、下期単月黒字の計画に向け堅調に推移しています。

（キッズ・婦人服事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高1,682百万円（前期比2.7%増）となりました。

「中古劇場」4館の出店により、当第2四半期連結累計期間のキッズ・婦人服事業の出店はグループ直営店3店舗となりました。（閉店はグループ直営店6店舗）

店舗の効率運営を目的として、今期より、子供服等の「B・KIDS」、婦人服等の「B・STYLE」をレディースラインとして1店舗に統合することにより、「B・KIDS」5店舗が減少しました。店舗数は減少となりますが、売場面積はほぼ変更ありません。

売上は、昨年度売上が大きかった中古劇場大井町阪急館内の2店舗撤退による売上の減少は大きかったものの、それを上回る新店の売上により増収となりました。

（TSUTAYA事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高1,211百万円（前期比50.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のTSUTAYA事業の出店は、株式会社ワイシーからの譲受を含め24店舗となりました。

2008年9月30日付で、「TSUTAYA」店舗22店舗、新刊書店「yc-vox」1店舗を譲受したことにより、23店舗増加しましたが、売上等の業績への寄与は第3四半期連結会計期間以降となります。

当第1四半期連結会計期間中に1店舗の増加により、増収となりました。

（その他事業）

当セグメント第2四半期連結累計期間業績は、売上高2,064百万円（前期比9.4%増）となりました。

「中古劇場」4館の出店により、当第2四半期連結累計期間のその他事業の出店は9店舗となりました。（閉店2店舗）

BOOKOFFの集客力を強みとした「中古劇場」内へ、スポーツ業態や貴金属業態の店舗を出店したこと、輸入古着業態の「BINGO」の大型店を中古劇場渋谷センター街館に出店したこと等により、大幅な増収となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①当第2四半期連結累計期間末における資産・負債・純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結累計期間末における流動資産の残高は15,183百万円(前連結会計年度末は14,541百万円)となり、641百万円増加しました。2008年9月30日に譲受した株式会社ワイシーシーの商品(約1,200百万円)を含め、大型店舗の出店による売場内商品等が1,472百万円増えたことが主な要因です。

(固定資産)

当第2四半期連結累計期間末における固定資産の残高は16,737百万円(前連結会計年度末は14,283百万円)となり、2,454百万円増加しました。新規出店に伴い有形固定資産と差入保証金(株式会社ワイシーシーも含む)をあわせて1,768百万円増加したことに加え、子会社譲受によるのれんの増加等、無形固定資産が863百万円増加したことなどが主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末における負債残高は21,132百万円(前連結会計年度末は17,725百万円)となり、3,406百万円増加しました。出店等による資金需要については、グループキャッシュマネジメントにより対応(現金及び預金マイナス1,000百万円)しておりましたが、M&Aにかかる費用1,400百万円を借入金で対応したことに加え、当第2四半期連結会計期間に連結子会社となった株式会社ワイシーシーが既に借入した借入金1,650百万円が増加したこと等により、長短借入金が3,163百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産残高は10,789百万円(前連結会計年度末は11,098百万円)となり、309百万円減少しました。当期純損失計上による利益剰余金の減少が主な要因です。純資産の減少により、自己資本比率は33.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ914百万円減少し、3,548百万円となりました。内訳としては、営業活動によるキャッシュ・フローは4百万円、投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス1,636百万円、財務活動によるキャッシュ・フローは698百万円でした。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益101百万円に加え、減価償却費の747百万円、投資有価証券評価損263百万円を計上したことによる増加から、たな卸資産の増加額232百万円と法人税等の支払額898百万円を差し引いた結果等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,636百万円となりました。これは主に新店出店に伴う有形固定資産の取得265百万円及び保証金の差入438百万円に加え、子会社株式の取得にかかる支出1,100百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は698百万円増加となりました。これは主にM&Aにかかる支出額を長短借入による収入で対応したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しては、2008年7月31日に開示したとおり、投資有価証券の特別損失の計上により、当期純利益の見通しを修正しました。また、2008年9月29日に開示した、株式会社ワイシーシーの株式取得により同社の売上を加えたため、売上高も見通しを修正しましたが、営業利益、経常利益については2008年5月14日に開示した期初計画どおり変更はございません。

当第2四半期連結会計期間において、営業利益398百万円(業績見通し比 Δ 27.5%)、経常利益493百万円(業績見通し比 Δ 24.1%)、当期純利益マイナス8百万円(業績見通し比 $-$)との結果となったものの、好調な買取による商品力のアップにより、ブックオフ事業及びその他リユース業態の販売客数は好調に推移しており、通期の計画は据え置くことといたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第2四半期連結累計期間において、平成20年9月30日付で、株式会社ワイシーシーの全株式を取得することにより、同社は当社の連結子会社となりました。

当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| ①名称 | 株式会社ワイシーシー |
| ②住所 | 埼玉県川越市脇田本町1番地7 |
| ③代表者の氏名 | 代表取締役社長 松下 展千 |
| ④資本金 | 266百万円 |
| ⑤事業の内容 | 書籍・CD・DVD等の販売及びCD・DVD等のレンタルに係わる事業 |

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

以下の簡便な会計処理を適用しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ②通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更による損益及びセグメントに与える影響は軽微です。
- ③当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。この変更による損益及びセグメントに与える影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,755,057	4,759,941
受取手形及び売掛金	1,069,839	910,945
商品	7,902,771	6,429,961
その他	2,461,137	2,449,216
貸倒引当金	△5,127	△8,329
流動資産合計	15,183,677	14,541,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,069,454	4,584,620
その他（純額）	782,526	598,090
有形固定資産合計	5,851,980	5,182,710
無形固定資産		
のれん	1,114,815	—
その他	836,067	1,087,723
無形固定資産合計	1,950,883	1,087,723
投資その他の資産		
差入保証金	7,201,636	6,102,647
その他	1,803,358	1,965,076
貸倒引当金	△70,150	△55,140
投資その他の資産合計	8,934,843	8,012,582
固定資産合計	16,737,707	14,283,016
資産合計	31,921,384	28,824,751

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成20年9月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	1,312,676	602,950
短期借入金	6,573,668	3,820,000
1年内返済予定の長期借入金	2,431,540	2,311,672
未払法人税等	280,249	971,495
賞与引当金	423,002	357,005
店舗閉鎖損失引当金	14,540	43,800
その他	2,875,087	2,773,215
流動負債合計	13,910,764	10,880,139
固定負債		
長期借入金	5,397,003	5,106,719
その他	1,824,387	1,739,099
固定負債合計	7,221,390	6,845,818
負債合計	21,132,155	17,725,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,527,094	2,523,494
資本剰余金	2,720,883	2,717,283
利益剰余金	6,053,356	6,383,967
自己株式	△738,794	△738,778
株主資本合計	10,562,539	10,885,965
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	98,745	95,105
為替換算調整勘定	△20,342	△30,928
評価・換算差額等合計	78,402	64,177
少数株主持分	148,287	148,650
純資産合計	10,789,229	11,098,793
負債純資産合計	31,921,384	28,824,751

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	26,515,234
売上原価	9,988,027
売上総利益	16,527,207
販売費及び一般管理費	16,128,493
営業利益	398,713
営業外収益	
持分法による投資利益	1,242
自動販売機等設置料収入	86,360
古紙等リサイクル収入	58,130
その他	86,825
営業外収益合計	232,559
営業外費用	
支払利息	97,015
その他	41,019
営業外費用合計	138,035
経常利益	493,236
特別損失	
投資有価証券評価損	263,290
店舗閉鎖損失	57,055
店舗閉鎖損失引当金繰入額	14,540
固定資産除却損	46,000
減損損失	10,584
特別損失合計	391,470
税金等調整前四半期純利益	101,766
法人税、住民税及び事業税	246,000
法人税等還付税額	△71,488
法人税等調整額	△65,826
法人税等合計	108,685
少数株主利益	1,637
四半期純損失(△)	△8,557

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	101,766
減価償却費	747,847
減損損失	10,584
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,808
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,290
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△29,259
支払利息	97,015
店舗閉鎖損失	57,055
固定資産除却損	46,000
持分法による投資損益 (△は益)	△1,242
投資有価証券評価損益 (△は益)	263,290
売上債権の増減額 (△は増加)	△127,455
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△232,318
仕入債務の増減額 (△は減少)	291,989
未払金の増減額 (△は減少)	△156,144
その他	△148,260
小計	923,384
利息及び配当金の受取額	9,475
利息の支払額	△101,671
法人税等の支払額	△898,416
法人税等の還付額	71,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△75,252
定期預金の払戻による収入	167,503
有形固定資産の取得による支出	△265,808
無形固定資産の取得による支出	△224,938
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,100,775
差入保証金の差入による支出	△438,229
差入保証金の回収による収入	179,200
その他	121,548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,636,752

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	5,600,000
短期借入金の返済による支出	△4,396,332
長期借入れによる収入	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,189,848
長期未払金の返済による支出	△500,456
株式の発行による収入	7,200
自己株式の取得による支出	△15
配当金の支払額	△320,241
少数株主への配当金の支払額	△2,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	698,306
現金及び現金同等物に係る換算差額	703
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△933,481
現金及び現金同等物の期首残高	4,463,073
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	18,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,548,281

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	ブックオフ事業 (千円)	キッズ・婦人 服事業 (千円)	TSUTAYA事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	21,555,749	1,682,943	1,211,740	2,064,800	26,515,234	—	26,515,234
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	3,737	3,737	△3,737	—
計	21,555,749	1,682,943	1,211,740	2,068,537	26,518,971	△3,737	26,515,234
営業利益 (△営業損失)	1,681,119	△10,110	38,330	△204,030	1,505,309	△1,106,595	398,713

(注) 1. 事業区分は、グループ内の事業展開を基準として区分しております。

2. 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) ブックオフ事業

中古書籍・中古CD（コンパクトディスク）等のリユースショップ「BOOKOFF」のチェーン展開

(2) キッズ・婦人服事業

玩具、子供服等の子供用品のリユースショップ「B・KIDS」及び婦人服のリユースショップ「B・STYLE」のチェーン展開等

(3) TSUTAYA事業

TSUTAYA加盟店として、ビデオレンタル、新刊書籍の仕入販売、CD・DVDの仕入販売等を行う店舗の運営。

※当社グループは、前連結会計期間まではTSUTAYA加盟店としてビデオレンタル店舗（前連結会計期間末：9店舗）のみを運営しており、その事業の内容を「ビデオレンタル事業」として開示してまいりましたが、当第1四半期連結会計期間より、神奈川県内のTSUTAYA加盟店1店舗にて、ビデオレンタルのほか、新刊書籍や新品CD・DVDの仕入販売等を行う店舗の運営も始めたことから、当セグメントの名称を、従前の「ビデオレンタル事業」から「TSUTAYA事業」に変更いたしました。

(4) その他事業

中古スポーツ用品のリユースショップ「B・SPORTS」店舗のチェーン展開等

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		24,502,077	100.0
II 売上原価		8,776,655	35.8
売上総利益		15,725,422	64.2
III 販売費及び一般管理費		14,533,324	59.3
営業利益		1,192,097	4.9
IV 営業外収益			
1. 持分法による投資利益	3,023		
2. 自動販売機等設置料収入	75,045		
3. その他	77,266	155,335	0.6
V 営業外費用			
1. 支払利息	73,136		
2. その他	18,654	91,790	0.4
経常利益		1,255,642	5.1
VI 特別利益			
1. 店舗譲渡益	18,840		
2. 売上割戻引当金戻入益	202,408	221,249	0.9
VII 特別損失			
1. 店舗の撤退に伴う損失	90,363		
2. 商品センター移転損失	24,988		
3. 固定資産除却損	62,564		
4. 投資有価証券評価損	5,386		
5. 投資有価証券清算損	2,096		
6. 店舗撤退損失引当金繰入額	185,726		
7. 減損損失	21,755	392,882	1.6
税金等調整前中間純利益		1,084,008	4.4
法人税、住民税及び事業税	451,826		
法人税等調整額	204,021	655,847	2.7
少数株主利益		△7,686	△0.0
中間純利益		420,474	1.7

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,084,008
減価償却費	597,292
売上割戻引当金の増減額 (減少: △)	△721,720
賞与引当金の増減額 (減少: △)	28,253
貸倒引当金の増減額 (減少: △)	△718
店舗撤退損失引当金の増減額 (減少: △)	185,726
支払利息	73,136
店舗譲渡益	△18,840
店舗の撤退に伴う損失	90,363
商品センター移転損失	24,988
固定資産除却損	62,564
減損損失	21,755
持分法による投資利益	△3,023
投資有価証券評価損	5,386
売上債権の増減額 (増加: △)	△445,388
たな卸資産の増減額 (増加: △)	130,723
仕入債務の増減額 (減少: △)	420,174
未払金の増減額 (減少: △)	97,640
その他	145,214
小計	1,777,539
利息及び配当金の受取額	8,889
利息の支払額	△78,047
法人税等の支払額	△794,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	913,552
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金、定期積金の預入れによる支出	△251,040
定期預金、定期積金の払戻による支出	165,765
有形固定資産の取得による支出	△697,083
無形固定資産の取得による支出	△434,923
投資有価証券の取得による支出	△80,000
貸付による支出	△43,000
差入保証金の増加による支出	△296,341
差入保証金の増加による収入	162,685
その他	△64,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,538,407

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	5,680,000
短期借入金の返済による支出	△4,007,800
長期借入れによる収入	1,120,000
長期借入金の返済による支出	△1,380,886
長期未払金の返済による支出	△431,880
株式の発行による収入	6,000
配当金の支払額	△219,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	766,059
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,073
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額	139,130
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	3,843,008
Ⅶ 現金及び現金同等物の中間期末残高	3,982,138

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

（単位：千円）

	ブックオフ事業	キッズ・婦人服事業	TSUTAYA事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	20,171,585	1,638,645	805,073	1,886,773	24,502,077	—	24,502,077
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14,016	—	—	34,318	48,334	(48,334)	—
計	20,185,601	1,638,645	805,073	1,921,091	24,550,412	(48,334)	24,502,077
営業費用	18,277,886	1,590,760	760,915	1,946,386	22,575,949	734,030	23,309,980
営業利益（△営業損失）	1,907,714	47,884	44,158	△25,294	1,974,462	(782,365)	1,192,097

〔所在別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。